

2020年 3月期
2019年4月1日～2020年3月31日

株主通信

証券コード：6724

この株主通信は、当社製品を活用して作りました



代表取締役社長 CEO

小川 恭範

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年4月1日付で代表取締役社長に就任した小川恭範です。

ここに2020年3月期株主通信をお届けいたします。

私たちエプソンは、1942年の創業以来培ってきた「省・小・精の技術」をベースに、世界中でお客様の期待を超える商品・サービスをお届けするべく、創造と挑戦を重ねてまいりました。

2019年度からは、この長期ビジョンの実現に向けた「Epson 25 第2期中期経営計画」がスタートしました。第1期の3年間で磨いたコア技術、増強した生産能力、蓄積した知見などを生かし、引き続き、4つの領域でイノベーションを起こしていきます。同時に、お客様の期待を超えるような新たな価値を継続的に創造し、世界中にお届けするために、ビジネスパートナーとの協業や、オープンイノベーションによる新市場創出の取り組みを進めていきます。エプソンの技術を活用して環境に優しい新しい商品やサービスを生み出したいという、私たち

と同じ志を持つ方々と協力し、より多くのお客様のニーズに迅速にお応えしていきます。そして、グローバルに張り巡らされた私たちのネットワークを活用し、全世界の市場やお客様に、価値あるサービスを送り届けます。

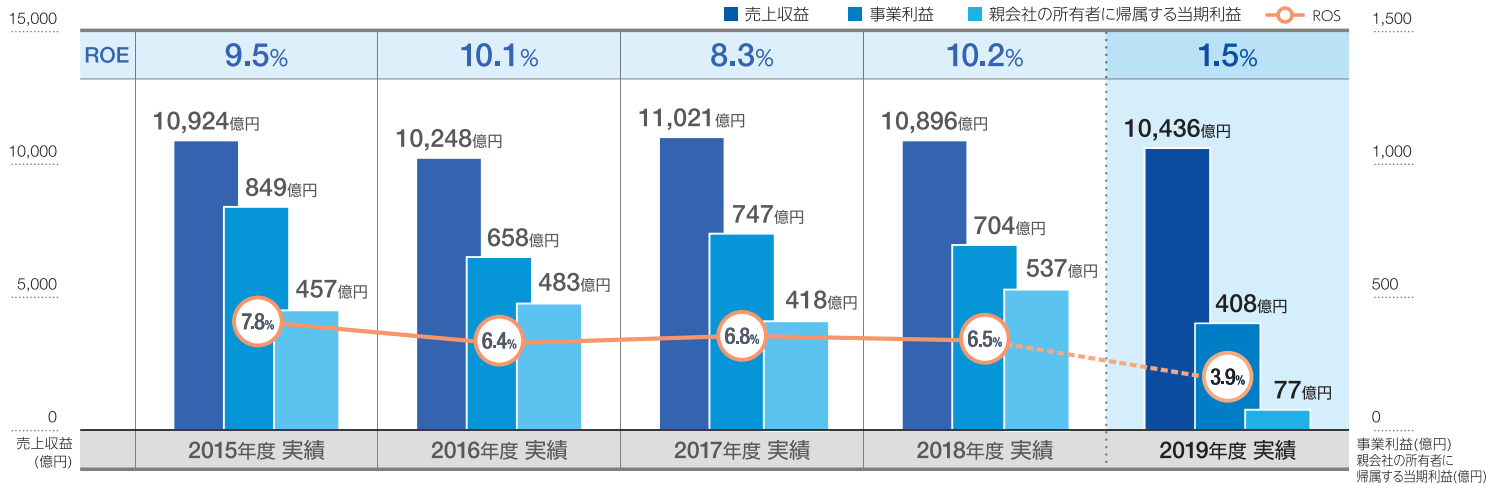
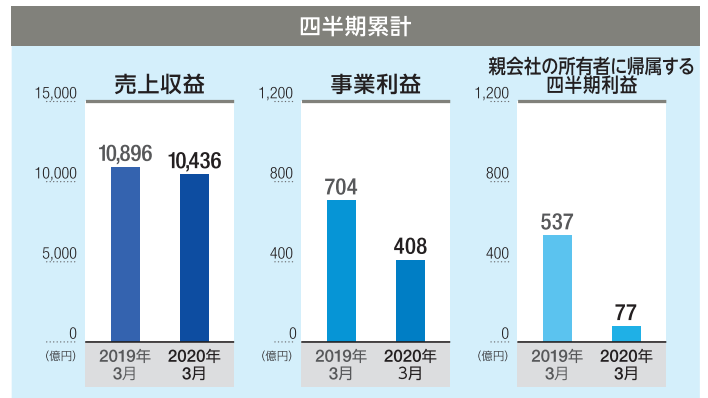
現在、新型コロナウイルスの影響は全世界におよんでおり、エプソンの事業活動にも影響を与えております。エプソングループは、各国政府および地方自治体などの方針に従い、お客様および社員をはじめとするステークホルダーの皆さまの健康や安全確保、感染拡大の防止に努めることを最優先とする対応を実施しております。今後、さらなる対策を実施してまいります。社会生活を維持するうえで必要な施設等への商品供給・サービス提供を可能な限り継続し、社会への責任を果たすと同時に、将来の継続的な事業成長を見据えた活動を推進してまいります。

今後もエプソンの歩みにご期待いただくとともに、より一層のご支援をお願い申し上げます。

当連結会計年度における経済環境を顧みますと、第3四半期までの景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、年度末に向けて新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、急速な減速となりました。また、今後についても、さらに新型コロナウイルスの感染者数・エリアが拡大し、急速な景気減速が継続することが懸念されます。地域別に見ますと、年度末に向けて新型コロナウイルスの影響により、経済活動の大幅な縮小が生じたことなどから、日米欧および新興国において急速に減速し、さらに中国では第4四半期でマイナス成長に転じました。

このような状況の中、売上収益は、インクジェットプリンターの大容量インクタンクモデルに対する需要の堅調な拡大はあるものの、米中貿易摩擦に端を発した世界経済の停滞や一部地域での政治経済の混乱等の影響を受けたことに加え、第4四半期においては中南米の通貨を中心とした円高進行の影響、新型コロナウイルスによる影響を受けたことにより、ビジュアルコミュニケーション事業セグメント、およびウェアラブル・産業プロダクツ事業セグメントを中心に減少となり、10,436億円(前期比4.2%減)となりました。事業利益

は、選択と集中による将来成長に必要な費用投下の効率化を進めていますが、外部環境の悪化による減収影響、円高による為替のマイナス影響が大きく、408億円(同42.0%減)となりました。営業利益は394億円(同44.7%減)、税引前利益は397億円(同44.9%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益は77億円(同85.6%減)となりました。なお、税金費用は、繰延税金資産の回収可能性を検討のうえ、繰延税金資産の取崩しを行ったことで増加することとなりました。



今後の見通し

新型コロナウイルス感染拡大により、需要の予測が困難であるとともに、販売活動および生産活動への制約が生じていることから、当社グループへの影響を適正かつ合理的に算出することが困難であるため、2020年度の業績予想につきましては未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

一方、2020年度の配当予想につきましては、前期と同額の62円としております。第2期中期経営計画の達成に向けた戦略は確実に前進しているとともに、万全な財務基盤を確保して

おります。

2020年度も第2期中期経営計画の基本方針に変更はありません。足元の変化に迅速に対応しながら、新型コロナウイルスによる混乱が収束した後の世界も見据え、中長期的な視点でイノベーションを加速させてまいります。

配当について	中間	期末	年間
2020年3月期(実績)	31円	31円	62円
2021年3月期(予想)	31円	31円	62円

● 第78回 定時株主総会について(2020年6月25日開催)

本年の定時株主総会は、当社ウェブサイト(<https://www.epson.jp/IR/>)に掲載の決議ご通知のとおり、報告ならびに決議され、終了いたしました。

● 当社株式の大量取得行為に関する対応策(買収防衛策)の非継続(廃止)について

当社は、買収防衛策を巡る近時の動向や、国内外の機関投資家をはじめとする株主の皆様のご意見などを踏まえ、慎重に検討を重ねた結果、2020年4月30日開催の取締役会において、

買収防衛策を廃止することを決議し、第78回定時株主総会終結の時をもって、同防衛策を廃止いたしました。

買収防衛策の廃止後も、中長期的な企業価値の向上に全力をあげてまいります。また、当社株式の大量取得行為を行おうとする者に対しては、当社の企業価値・株主共同の利益を確保・向上する観点から、当該大量取得行為の是非を適切に判断するために必要かつ十分な情報の提供を求め、当社取締役会の意見等を開示し、株主の皆様が検討するために必要な期間および情報の確保に努めるほか、金融商品取引法、会社法その他関連法令に基づき、適切な措置を講じてまいります。

オープンイノベーションの加速

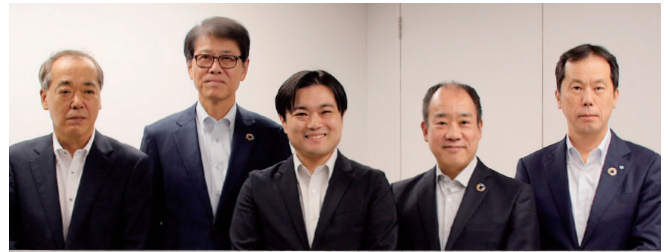
エプソンは、長期ビジョン「Epson 25」の第2期中期経営計画における基本方針のひとつとして、「資産の最大活用と協業・オープンイノベーションによる成長加速」を掲げています。独自のテクノロジーや商品・サービスを基盤にさまざまなパートナーとシナジーを創り出し、持続可能な社会の実現に向け貢献していきます。

エプソンと東大発スタートアップ企業エレファンテックが資本業務提携 — インクジェットヘッド供給などでパートナーシップ契約締結 —

2019年7月、プリンテッド・エレクトロニクス分野のスタートアップ企業であるエレファンテック株式会社とパートナーシップ契約を締結し、同年10月に出資を行いました。

エレファンテックは、インクジェット印刷と銅めっきを用いて製造されたフレキシブル基板の製造および販売を行う東京大学発のスタートアップ企業であり、エレクトロニクス

などのインクジェット印刷の新市場で先行し、潜在顧客を有しています。当社は、エレファンテックと協業することにより、インクジェットヘッドの産業利用を加速させてまいります。



「インクジェットによる新しいものづくり」 共同記者会見



商号	エレファンテック株式会社
所在地	東京都中央区八丁堀四丁目3番8号
代表者	代表取締役社長 清水 信哉
設立	2014年1月 (2017年9月4日にAgIC株式会社から商号変更)
資本金	310百万円
事業内容	プリンテッド・エレクトロニクス製造技術の開発、製造サービス提供

【2020年5月現在】

50億円のベンチャー投資事業ファンド「エプソングロスインベストメント」設立

2020年3月16日付で、協業・オープンイノベーションを加速し、既存事業の成長と新規事業の創出をねらう、コーポレートベンチャーキャピタル(CVC)子会社『エプソングロスインベストメント株式会社(EXI)』を設立しました。今後、総額50億円のファンドを立ち上げ、ベンチャー投資を行います。

一般的に異業種を取り込む手法としてはM&Aが主流ですが、近年、広範かつ多岐にわたる分野・業種のベンチャー企業との協業や資本提携を実現でき、大きな環境変化やディスラプションへの備えとして有効であるCVCが着目されてきています。こうした状況を踏まえ、オープンイノベーション戦略をさらに加速させるために、迅速な意思決定や投資実行を可能とするCVC子会社・EXIを設立しました。

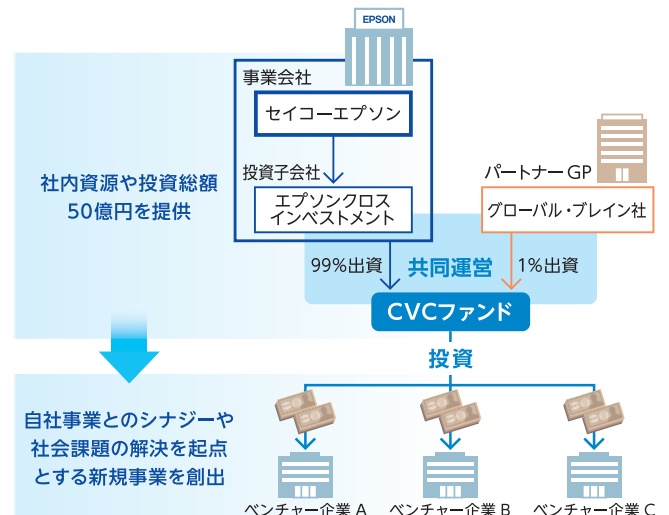
EXIは、CVC運営に強みをもつ独立系ベンチャーキャピタルであるグローバル・ブレイン株式会社(代表:百合本 安彦)

をゼネラルパートナーとし、エプソングループ99%出資のコーポレートベンチャーファンドを組成し、総額50億円の投資枠を設定、国内外のベンチャー企業を投資対象とするファンドの運営を行います。

*1 コーポレートベンチャーキャピタル(CVC): 事業会社が自己の資金を拠出することでファンドを組成し、ゼネラルパートナー(GP)と共に、リミテッドパートナーとして主に未上場のベンチャー企業に出資や支援を行うこと。自社の事業内容と関連性のある企業に投資し、本業との相乗効果を得ることを目的とする。

*2 ディスラプション: デジタルテクノロジーによって、既にある産業を根底から揺るがし、崩壊させてしまうような破壊的イノベーション。

ファンドオペレーションのスキーム図



商号	エプソングロスインベストメント株式会社
所在地	東京都千代田区神田錦町2-2-1 Wework 神田スクエア内
代表者	代表取締役 小川 恭範
設立	2020年3月16日 (業務開始2020年4月1日)
資本金	1億円
事業内容	事業会社によるベンチャー投資育成事業 他

● 会社概要 (2020年3月31日現在)

商号	セイコーエプソン株式会社 (SEIKO EPSON CORPORATION)
創立	1942年5月18日
本社	〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 TEL: 0266-52-3131 (代表)
本店	〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号JR新宿ミライナタワー TEL: 03-5368-0700 (代表)
資本金	532億4百万円
従業員数	連結: 75,608 人 単体: 12,813 人
グループ会社	85 社 当社含む国内 18 社 海外 67 社

● 株主メモ (2020年3月31日現在)

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
未払配当金の支払い、支払明細発行の お問い合わせ先・郵便物送付先 ^{※1}	(お問い合わせ先) 東京都府中市日鋼町1番地1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-232-711 (通話料無料) (郵便物送付先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座に記録された株式に関する各種 お手続きのお問い合わせ先・郵便物送付先 ^{※2}	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-288-324 (通話料無料)
公告掲載方法	電子公告により行う。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
公告掲載アドレス	https://kmasterplus.pronexus.co.jp/main/corp/6/7/6724/index.html

※1 住所氏名変更・配当金振込先指定(変更)等の事務手続きについては、お取引の証券会社等にお問い合わせの上、所定の変更届等を提出してください。

※2 特別口座にて管理されている単元未満株式(100株未満)の買取りの際には、買取請求書を上記「みずほ信託銀行株式会社 証券代行部」にご請求の上、同行にて所定の手続きを行ってください。

● 役員 (2020年6月25日現在)

役名	氏名	役名	氏名
取締役会長	碓井 稔	常務執行役員	奥村 資紀 渡辺 潤一 島田 英輝
代表取締役社長	小川 恭範		深石 明宏 森山 佳行 佐伯 直幸 下斗米 信行 山本 和由 安藤 宗徳 五十嵐 人志 Keith Kratzberg
代表取締役 専務執行役員	久保田 孝一		大塚 勇 阿部 栄一 市川 和弘 内藤 恵二郎 吉田 佳史 Andrea Zoeckler
取締役 常務執行役員	瀬木 達明		永房 義朗 細野 聡 鈴木 文徳 武井 昭文 吉田 潤吉 Samba Moorthy
取締役 執行役員	川名 政幸 高畑 俊哉	執行役員	山田 陽一
社外取締役	大宮 英明 松永 真理		村田 すなお 北原 強
取締役 常勤監査等委員	重本 太郎		戸枝 晶彦
社外取締役 監査等委員	白井 芳夫 村越 進 大塚 美智子	技術専門役員 監査等特命役員	

● 株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	1,214,916,736 株
発行済株式総数	399,634,778 株
株主の総数	45,788 人

詳細な内容はこちらをご覧ください



● 投資家の皆様へ

<https://www.epson.jp/IR/>



● CSR・環境

<https://www.epson.jp/SR/>



FTSE4Good Index Series
英国(2019年6月)
<https://www.ftse.com/products/indices/FTSE4Good>



2019 Constituent
MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

セイコーエプソン 株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号 TEL: 0266-52-3131 (代表) <https://www.epson.jp>



用紙の再生および印刷は、障がい者雇用の促進を図る
特別子会社エプソンミズベ株式会社で行なっています